

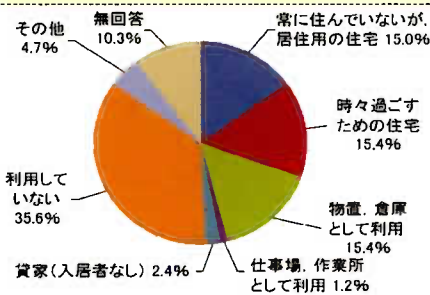
# 空き家所有者意向調査の結果概要

## 1. 小規模修繕により再利用可能及び不具合が見られる空き家(平成 28 年度調査)

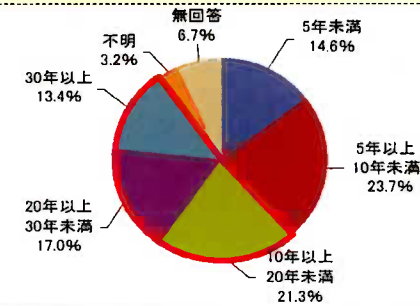
空き家の利用や管理についての意向調査(空き家と思われる住宅 1,374 戸のうち、「小規模修繕により再利用可能」、「不具合が見られる空き家」及び老朽度が不明の計 590 戸の所有者等を対象、有効回収数 281 件、有効回収率 47.6%)の結果の概要は次のとおりです。

### ◎利用していない空き家が 36%、空き家の 5 割以上は空き家の期間が 10 年以上

問 1-1: 利用状況についてお答えください。

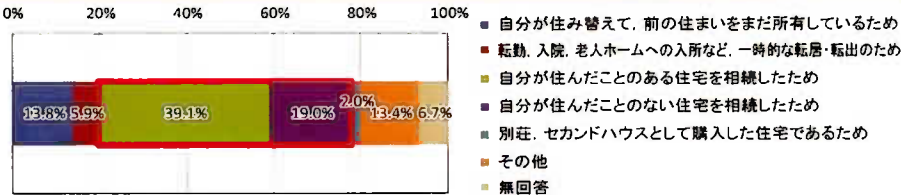


問 1-2: 常に住まなくなった期間についてお答えください。



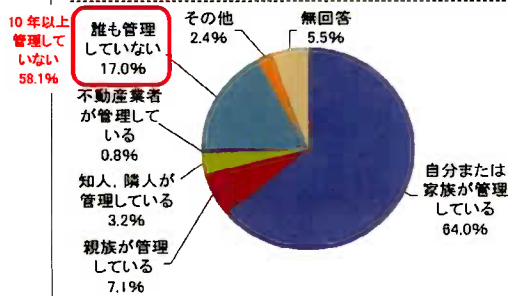
### ◎空き家となった理由は、居住者の死亡による相続が 58% (自分が住んだことのない住宅を相続している事例も多い)

問 1-3: 常に住まなくなった理由は何ですか。

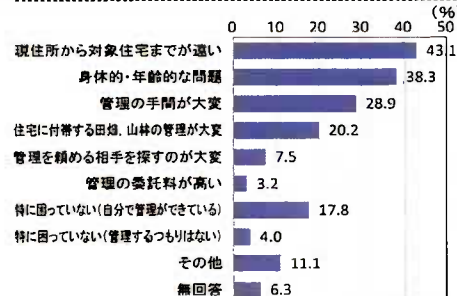


### ◎誰も管理していない空き家が 17% (うち、10 年以上管理していない空き家が 5 割以上) ◎空き家の管理で困っていることは、「現住所から対象住宅までが遠い」(43%)、「身体的・年齢的な問題」(38%)、「管理の手間が大変」(29%)

問 1-4: 管理の状況についてお答えください。

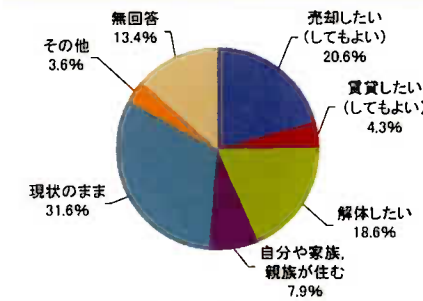


問 1-5: 管理で困っていることは何ですか。(複数回答)

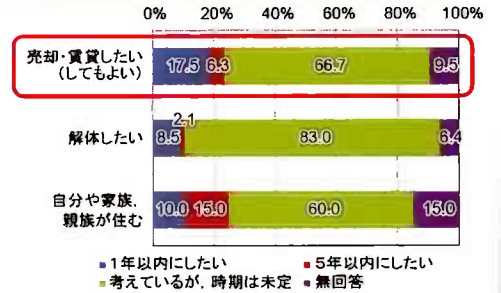


### ◎空き家の多くが現状維持(32%)であり、売却・賃貸化の意向がある空き家についても、時期は未定が 6 割以上

問 1-6: 今後の利用方法について、どのようにお考えですか。

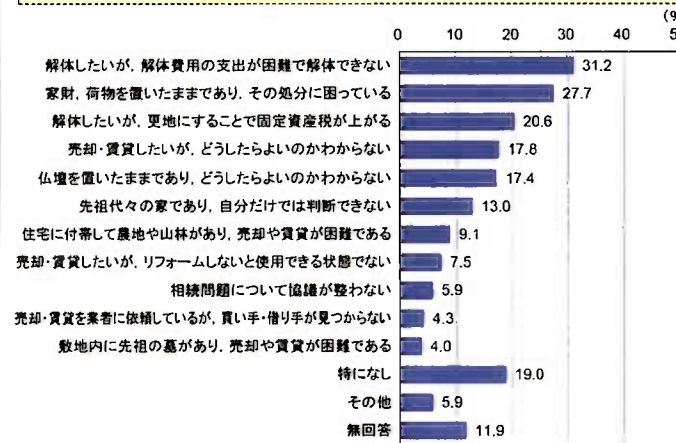


問 1-7: 売却、賃貸、解体または居住するのは、いつ頃をお考えですか。



### ◎空き家の利用方法で困っていることは、「解体費用の支出が困難」(31%)、「家財・荷物の処分に困っている」(28%)、「更地になると固定資産税が上がる」(21%)、「どうしたらよいかわからない」(17%)

問 1-8: 今後の利用方法について、困っていることは何ですか。(複数回答)



### ◎売却・賃貸化の意向がある空き家の利用方法で困っていること(上位3項目)

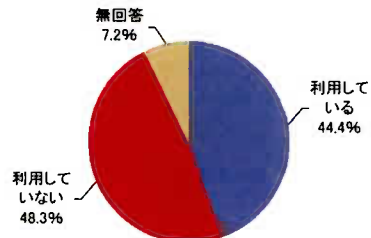
項目	構成比
売却・賃貸したいが、どうしたらよいかわからない	54.0%
家財、荷物を置いたままであり、その処分に困っている	41.3%
解体したいが、解体費用の支出が困難で解体できない	38.1%

## 2. そのまま再利用可能な空き家（平成 27 年度調査）

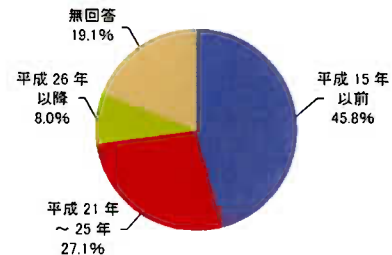
空き家の利用や管理についての意向調査（空き家と思われる住宅 1,374 戸のうち、「そのまま再利用可能」の計 713 戸の所有者等を対象、有効回収数 333 件、有効回収率 46.7%）の結果の概要は次のとおりです。

◎利用していない空き家が 48%、平成 15 年以前に空き家になった住宅が 46%

問 2-1: 利用していますか。

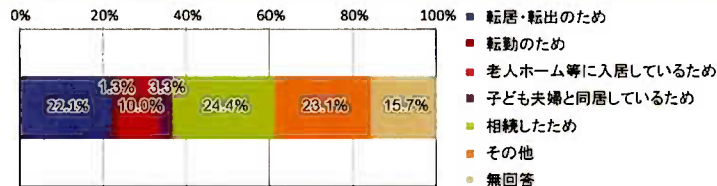


問 2-2: 住まなくなった時期は、いつ頃からですか。



◎空き家となった理由は、居住者の死亡による相続が最も多い（24%）

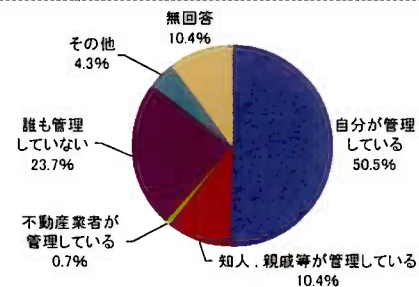
問 2-3: 住まなくなった理由は何ですか。



◎所有者が管理している空き家が 5 割（知人、親戚等による管理を含めると 6 割）

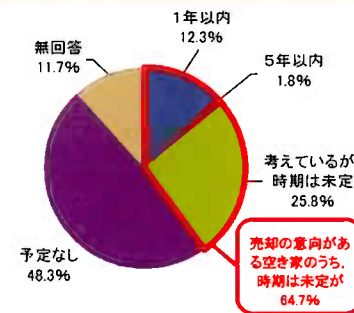
◎誰も管理していない空き家が 24%

問 2-4: 管理の状況についてお答えください。

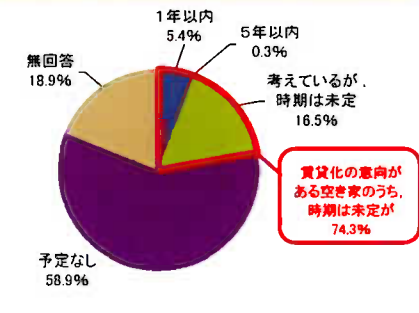


◎空き家の多くが売却・賃貸化の予定なしであり、売却・賃貸化の意向がある空き家についても、時期は未定がそれぞれ 65%、74%

問 2-5: 売却の予定について



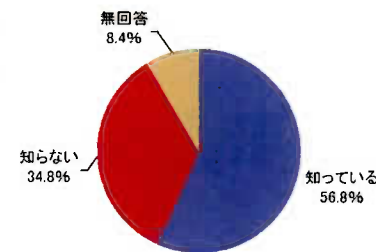
問 2-6: 賃貸の予定について



◎空き家バンクの取組を半数以上の所有者が知っているもの、知らない所有者は 35%

◎空き家バンク登録の意向がある空き家（登録済を含む）は 35%

問 2-7: 空き家バンク制度をご存知ですか。



問 2-8: 空き家バンクの登録について

